

特別活動全体計画

校長名 平林 千恵

【法的根拠】 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領	学校の教育目標 ○江戸川区教育委員会の教育目標に基づき、児童及び地域社会の実態を踏まえ、人権尊重の精神を基調とし、地域を愛する心情を育てるとともに、健康で知性と感性に富み、社会連帯意識や国際的な広い視野をもった人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を設定する。	【地域の実情】地域・保護者が学校を大切に、たくさんの人が学校と関わり、一丸となって児童を育もうとする。 【学校の実情】学校行事や縦割り班活動、クラブ・委員会活動などを通して、様々な児童が関わり合おうとしている。 【児童の実態】自分の考えを伝えるだけでなく、相手の考えを認め、合意形成を図ろうとしている。 【教師の願い】個性を伸ばし、それぞれの違いを認め合うとともに、困っている人に手を差し伸べる豊かな心をもつ児童の育成を図る。 【保護者の願い】集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮し、協力しながら学校生活を送ってほしい。
特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題の解決方法について合意形成を図る。 また、多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動すると共に、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。	
目指す児童像	・集団の成員としての自覚を深め、自主性・社会性を育てる。 ・児童の自主性を尊重し、意欲・関心を高め、個性を伸ばす。	
特別活動の重点目標	・集団の一員としての自覚をもち、協力してよりよい生活をしようとする実践的な態度を育てる。	

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級活動を通して、学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決する自主的・実践的な育成することを目指す。	児童会活動を通して、異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することにより自主的、実践的に取り組む自主的・実践的な育成することを目指す。	クラブ活動を通して、異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することにより自主的、実践的に取り組む態度を育てる。	学校行事を通して、全校又は学年の児童で協力し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、よりよい学校生活を築いていこうとする自主的・実践的な態度を育てる。
指導の方針	○楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重し合える認め合える人間関係を築くべく、低学年では仲良く助け合おうとする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 ○自己のよさや可能性を生かして学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、社会の一員として責任をもって行動しようとする態度を育成	○異年齢集団活動を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にあこがれをもち、仲良く、協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を形成したり、集団の一員として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組んだことについて、児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組むようになるなどの自主的、実践的な態度を育成	○学年や学級が異なる同好の児童が互いに協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を築くことができるようにするとともに、児童の興味・関心にかかわるよさや可能性について、多様な他者との人間的な触れ合いの中で認め合うことができるようになる	○全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことができるようにしたり、共に喜びや苦労を分かち合っている目標を成し遂げることができるようにしたりするなど、望ましい体験的な活動が展開できるようにする。
主な指導内容	(1) 学級や学校の生活づくりへの参画 ア学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ学校における多様な集団の生活の向上 (2) 自らの生活や学習への応応と自己の成長及び健康安全が基本的な生活習慣の形成 エよりよい人間関係の形成 オ心身ともに健康で安全な生活態度の形成 カ食育の観点から踏まえた学校給食や望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 エ自身の学習や成長についての自己評価を記録し「キャリアパスポート」として活用する。	(1) 代表委員 児童が主体的に組織を作り、役割を分担し、計画を立てて、学校生活の課題を見付け、解決できるようにすること。 (2) 児童集会 学年や学級が異なる児童と交流を図り、よりよい人間関係を築けるようにすること。 (3) 学校行事 学校行事の特質に応じて、児童会の組織を活用し、児童が主体的に取り組むようにすること。	(1) 組織づくり・計画・運営 児童が活動計画を立て、役割を分担し、協力して運営に当たること。 (2) クラブを楽しむ活動 異なる学年の児童と協力し、創意工夫を生かしながら共通の興味・関心を追求すること。 (3) クラブの成果の発表 活動の成果について、クラブのメンバーの発意・発想を生かし、協力して全校の児童や地域の人々に発表すること。	(1) 儀式的行事：学校生活に有意義な変化や折目をつけ、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活への機付けとなるようにすること。 (2) 文化的行事：平常の学習の成果を発表しその向上の意欲を一層高める文化や芸術に親しんだりするようにすること。 (3) 健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守るなどについての関心を高め、安全な行動や規律による集団の体得、運動に親しむ態度の養成、責任感や連帯感の醸成、体力の向上などに資するようにすること。 (4) 遠足・集団宿泊的行事：自然の中での集団宿泊活動などの環境と異なる生活環境にあって、見聞を広め自然や文化などに関心をもち、よりよい学習態度を築くなど、学校生活の在り方や公衆道徳などについてのよりよい体験を積むことができるようにする。 (5) 勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊厳や生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。
各教科・読書科	○各教科等の指導で身に付けた言葉の確かな理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点から踏まえた学校給食や望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事：学校や地域の集事について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事：国語や音楽、図画工作等の学習成果を発表し交流すること、学力の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事：体質の学習態度を築くなど、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成。 ○遠足・集団宿泊的行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊厳や生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
他の教育活動との関連	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲よく助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで協力し合っって楽しい学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し、学び合い、助け合うことを、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	下学年は、わがままをしないで自分でできることとは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をするを、上学年では、だれに対しても思いやり的心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5、6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやり的心をもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなで協力し合い楽しい校風をつくること、郷土や国を愛する心をもつことを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもち、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にするを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
外国語活動	外国語科・外国語活動で身に付けた相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を学級での話し合い活動に生かせるようにする。	外国語科・外国語活動で身に付けた主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を生かしながら、異学年の児童同士で交流し合い、よりよい人間関係を築いたり、共に協力して計画・運営を行ったりしていく。	外国語科・外国語活動で身に付けた積極的に自分の思いを伝えようとする態度を生かし、全校又は学年の児童間で協力し、自主的・実践的に活動に取り組んでいく。	外国語科・外国語活動で身に付けた主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を生かし、全校又は学年の児童で協力し、共に喜びや苦労を分かち合っている望ましい体験的な活動が展開できるようにする。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた問題解決能力、主体的な態度などを、学級活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で身に付けた問題解決能力、主体的な態度などを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で身に付けた問題解決能力、主体的な態度などを、クラブ活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間に学んだ環境や自然な課題としての諸問題の解決や、社会とのかわわりを考える体験活動を諸行事で生かせるようにする。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点から踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動に効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。また、学校行事に協力する児童会活動として、運動会を行う際に、地域の高齢者を招待するなどして、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得たりする活動などを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域のお囃子や踊りなどの伝統芸能や文化と関連付けて、外部講師や地域の教育力を活用するなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。
備考				